

お知らせ

消防 花火による火災を防止しましょう

花火は正しく取り扱わないと火災やけがなどの事故を起こすことがあります。たかが花火と思いがちですが花火をする前には必ず次のことに注意しましょう。

- ①花火を人や建物に向けない。
- ②周囲に燃えやすいもの(紙くず・枯れ草等)がない場所を選ぶ。
- ③風の強い日や、火災警報・乾燥注意報等が発令しているときは、花火をしない。
- ④必ず水の入ったバケツを用意し、花火の残り火を完全に消火する。
- ⑤衣類に火がつかないように注意する。
- ⑥花火をほぐしたり、数本をまとめて点火したりする等、火薬が一度に燃えるような遊び方をしない。
- ⑦花火に書いている注意書きをよく読み、使用方法を守る。
- ⑧大人が付き添い、花火の扱い方、火の後始末等を指導する。

☎ 消防本部予防課 ☎ 892-0012

福祉 第71回社会を明るくする運動

犯罪や非行の防止と、犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、明るい社会を築くことを目的とした全国的な運動です。

7月はこの運動の強調月間にあたります。枚方・交野地区社会を明るくする運動実行委員会では、『『ありがとう』その一言で生まれる笑顔』をテーマに、パネルやポスターの掲出を行います。

※例年実施していたセレモニーと街頭啓発物品配布は中止します。

※詳細は同運動ホームページをご覧ください。

☎ 枚方・交野保護司会事務局

(福祉総務課)

☎ 893-6400



教育 長宝寺小学校統合校舎整備事業が始まります

7月から統合校舎整備事業が本格的に始まります。工事期間中はご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。詳細はまなび舎整備課ホームページをご覧ください。

https://www.city.katano.osaka.jp/soshiki/gakkouyouiku/manabi-seibi/

☎ まなび舎整備課 ☎ 810-8010

健康 市役所別館で特定健診

日時 7/19(月)、8/5(木) 13:30 ~

場所 市役所別館3階

対象 市国民健康保険加入の40歳以上

定員 各50人

費用 500円

申込・☎ 医療保険課 ☎ 892-0121

健康コラム

熱中症対策

熱中症は炎天下よりも室内で、また夜間でも発生しています。閉め切った部屋で高温・多湿になるとかかりやすくなるため、「自分は大丈夫」と過信せず、しっかり予防・対策をして熱中症を防ぎましょう。

[予防のポイント]

- ・のどが渇かなくてもこまめな水分補給を、汗をかいたときは塩分も忘れずに
- ・涼しい服装と日傘や帽子の利用を
- ・温度・湿度を測定し、室温28℃、湿度70%以下に
- ・屋外で、人との距離が2m以上保たれる場合は、適宜マスクを外す
- ・食事・睡眠・適度な運動で、からだづくりを
- ・毎朝体温測定を行い、健康チェックを
- ・体調にあわせて行動を



今月のおすすめ本

児童書



ぼくのがっこう
鈴木 のりたけ
PHP 研究所



イカル荘へようこそ
にしがき ようこ
PHP 研究所

ぼくとがっこう

谷川 俊太郎 アリス館

教科で学ぶSDGs学

稲葉 茂勝 今人舎

うまれてぞだつ わたしたちのDNAといでん

ニコラ・デイビス ゴブリン書房

あたまがよくなる!最強なぞなぞだいてんデラックス
学研プラス

一般書



少女と少年と海の物語
クリス・ヴィック
東京創元社



植物忌
ほしの ともゆき
星野 智幸
朝日新聞出版

火車の残花 浮雲心霊奇譚
神永 学 集英社

「日本の仕事・暮らしの道具店 cotogoto」の愛用品じまん
cotogoto KADOKAWA

3・4・5歳のこどもの「なんで?」早引き事典Light
主婦の友社 / 編 主婦の友社

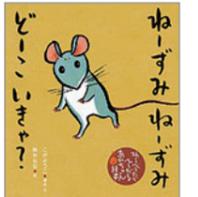
幸せな人生のつくり方
坂東 眞理子 祥伝社

いっしょに読んで 赤ちゃんの絵本

ねーずみ ねーずみ どーこいきゃ?

こが ようこ / 構成・文 降矢 なな / 絵(童心社)

「ねずみ、ねずみ、どこへいく?」「我が巣(自分のお家)へちゅっちゅくちゅ」と歌うわらべ歌が基になった絵本です。ゆったりとしたやさしいリズムと素朴で温かみのある絵で親子のふれあいを描きます。巻末には譜面と遊び方が紹介されています。そこではあかちゃんを寝かせてくすぐっていますが、座ったままで、少し大きくなったお子さんとも遊べます。子どもはくすぐりっこが大好きです。お子さんとのふれあいの時間を楽しんでください。



祝日開館(室)のお知らせ 倉治図書館・青年の家図書室は7/22・23の祝日を開館(室)します。

開館時間は10:00 ~ 17:00です。どうぞご利用ください。

☎ 倉治図書館 ☎ 891-1825、青年の家図書室 ☎ 893-4881

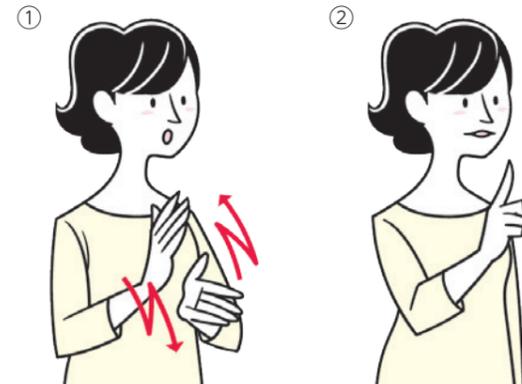


手話ではなそう

☎ 障がい福祉課 ☎ 893-6400

もう一度

わからない



- ①両手を交互に軽く接触させながら前後させます。「改めて」を表します。
- ②胸の前で人さし指を立てます。
※相撲の稽古の際に手についた土を払って、「もう一番」と挑むしぐさが由来と言われています。

利き手の伸ばした指先で同じ側の胸から肩へ軽く2回なで上げます。
※「知らない」の意味でも使います。